Habilis Japan
第３期中期計画

2026.8

次の５年のスローガン

【子ども向け】

『やってみたい！』を、みんなでカタチに。

子どもたち一人ひとりの「やってみたい！」という気持ちを大切にし、その想いを実現できる機会や環境づくりを進める。
仲間とともに挑戦し、一人ひとりが自分らしく成長できる場を広げていく。

【会員・クルー向け】

つながりを深め、みんなで育てるハビリス

一つひとつの活動の質を高めるとともに、子どもや家族、会員、寄付者、クルーとのつながりを深める。
誰もが参加しやすく、ともにハビリスジャパンを育てていく持続可能な組織づくりを目指す。

中期ビジョン・重点ポイント（概略）

中期ビジョン　挑戦と共感の好循環による、持続的仕組みの確立

5年後（2031年）に実現したい目標

5つの重点ポイント

目標実現のためのアクションプラン



1 イベント
多くの子どもたちの挑戦機会を継続的につくる

2 環境・道具
“やってみたい！”を支え育む環境をつくる

3 友だち・家族
共に成長する友だちを増やす

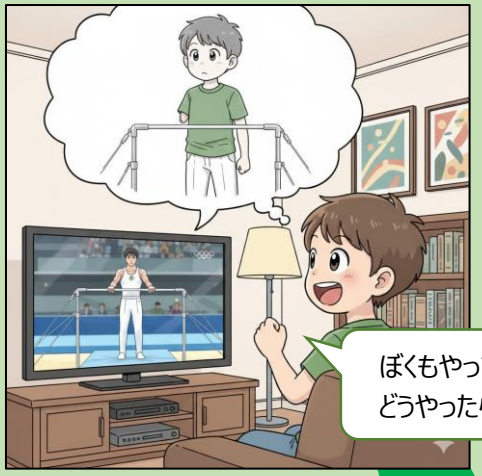
4 社会・連携協力
共感する仲間の輪を広げ、
社会に変化の兆しを生む

5 運営基盤
持続的な運営基盤を、
皆でつくる

▶ 物語で見る　中期ビジョン

挑戦と共感の好循環による、持続的仕組みの確立

やってみたい！



“やってみたい！”の芽生え

一人ひとりの成長と活動に”適した”環境





自分に合った場、義肢を含む道具や方法、仲間とのつながり

できた！

▶ **子どもたちの挑戦を増やす**



挑戦も失敗も
安心して何度でも！



その子なりの「できた！」が、次の自信に

つなぐ

▶ **社会の共感を力にする**



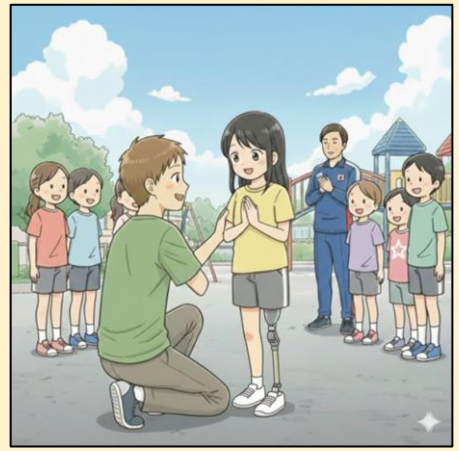
活動を知ることから、応援の輪が広がる



応援を、次の子どもの選択肢へ

次の “やってみたい！” へ

▶ **好循環が続く仕組みをつくる**



次の “やってみたい！” にバトン



一人ひとりが、自分らしく成長できる社会へ

はじめに

Habilis Japanとは

Habilis Japanは、手や足に特徴のある子どもたちの色々な「やってみたい！」を実現するため、
一人ひとりの成長と活動に”適した”環境をつくる活動をしている団体です。

子どもは体を動かしたり、チャレンジすることが大好きです。
手や足に特徴があっても、その気持ちは同じです。
友達といっしょに走りたい！ 鉄棒をしたい！ キャッチボールをしたい！
そんな時間が 子どもたちの心と体の成長につながります。

そのためには、その子にあったやり方や工夫が必要です。
自分に合った場（イベント機会など）があり、道具・方法（義肢など）を選ぶことができ、
仲間とのつながりの中で、安心して挑戦でき、安心して失敗できる環境。
そんな一人ひとりの成長と活動に”適した”環境が、子どもたちの可能性を広げると、私たちは信じています。

Habilis Japanの特長は、当事者・ご家族、医療者、多様な専門性・経験を持つメンバー（研究・技術・スポーツ・教育等）、
さらに、想いに共感する支援者・プロボノ等が連携し、子どもたちが安心して取り組める環境を、皆で共につくっている点です。

その子なりの一つひとつの「できた！」が、自信になる。
その自信が、次の「やってみたい！」につながっていく。

そんな循環が、特別なことではなく、日々の中で当たり前に生まれるように。
Habilis Japanは、すべての子どもたちが、自分らしさに誇りを持ち、成長できる社会を目指しています。

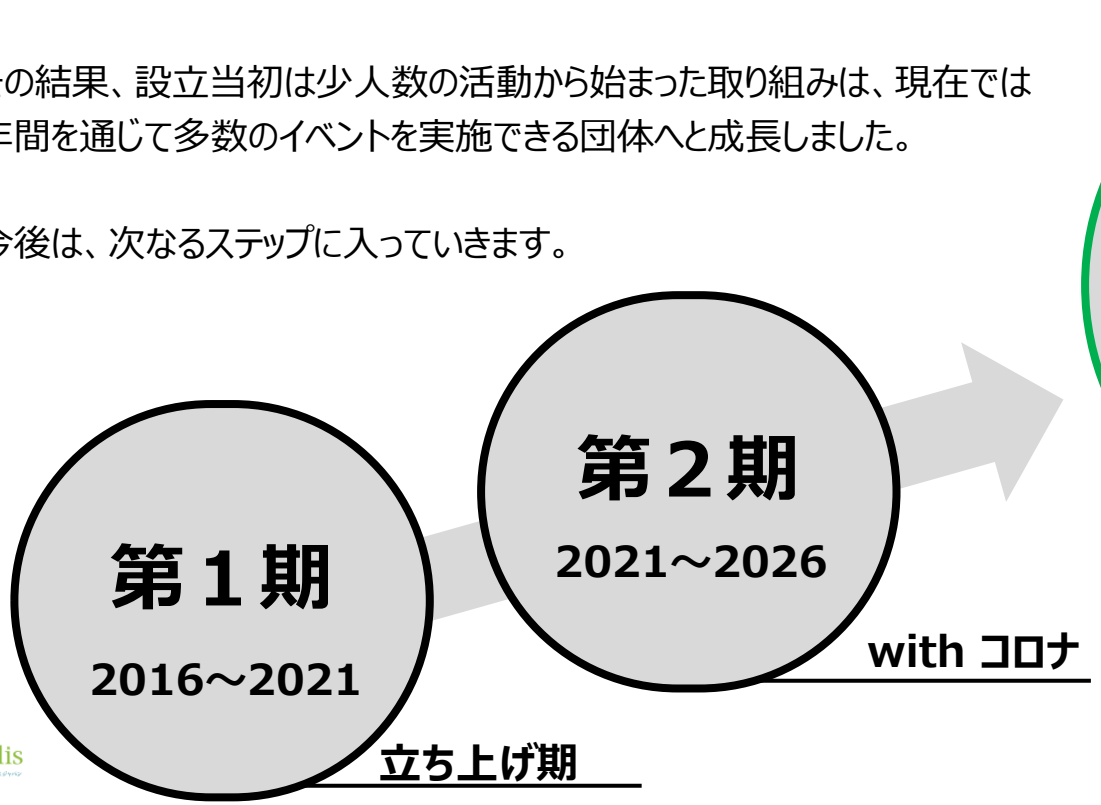
これまでの歩み

一般社団法人 ハビリスジャパンは、小児義肢を必要とする日本の子ども達への支援体制を確立したいとの思いに賛同したメンバーが集い、2016年8月に設立されました。

これまで、運動体験を中心に、料理教室や家族会、演奏会など多様な活動を試みながら、イベントの企画・運営力を高めてきました。また、運動用義肢や音楽楽器などの新しい道具の研究・開発・提供にも取り組み、幅広い挑戦の機会を子どもたちに提供してきました。

その結果、設立当初は少人数の活動から始まった取り組みは、現在では年間を通じて多数のイベントを実施できる団体へと成長しました。

今後は、次なるステップに入っていきます。



Habilis Japan ビジョン

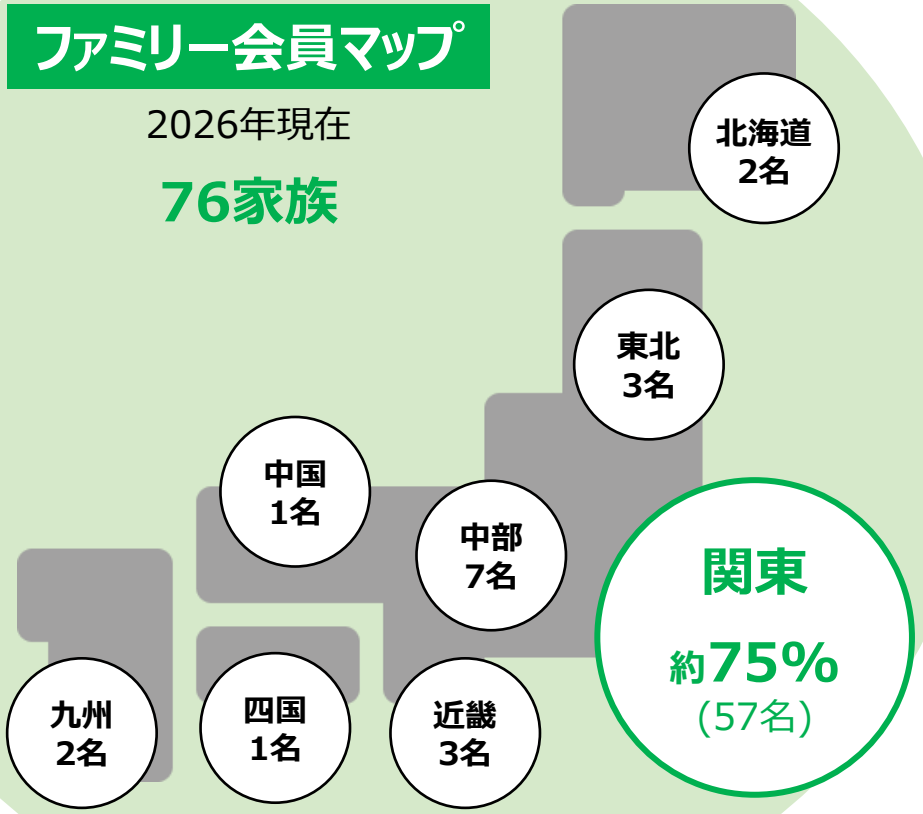
すべての子どもたちが、
自分らしさに誇りを持ち、
成長できる社会を

問題意識

ファミリー会員マップ

2026年現在

76家族



ビジョンに掲げた社会の実現に近づくためには、まだ課題も残されています。

まず、取り組みを持続可能な形で推進するためには、運営体制・財源といった**運営基盤のさらなる強化**が急務です。

全国のより多くの子どもたちに挑戦の機会を届けること、
社会の理解や共感を広げることを強化し、
挑戦と共感が循環する仕組みとすることが重要と考えています。

サポーター

- 個人サポーター 187名
- 法人サポーター 18社

運営基盤

- クルー 20名
- 助成金依存割合 52%

活動の方向性

次のステップを、私たちの想いを一つにして力強く進めていくために、新たに第3期の中期計画を策定しました。
その検討プロセスでは、ハビリスに関わる一人ひとりの想いを何より大切にし、それぞれの声や経験を言語化した上で、組織として優先すべき課題を重ね合わせました。
その結果、優先すべき方向性として、以下のキーワードが紡ぎ出されました。

方向性

明るく前向きで、温かい安心な関係性

子ども一人ひとりの可能性を伸ばす場

子どもたちの笑顔と成長が活動の中心

持続可能な活動基盤

もっと多くの子どもたちの参加

子ども自身の想いを大切に



社会を変える力

ハビリスジャパン
想いマップ②

もっと多くの子どもたちの参加

多様な大人の力の掛け合わせ

みんなにとっての「関わり続けたい団体」

大人も子どももお互いに学び合える場

ミッション・バリューのアップデート

ミッション・バリューのアップデート

より多くの仲間と共にハビリスジャパンを育てながら、次のステージへ進むために、私たちの ミッション・バリュー をアップデートします。

引き続き大切にする３つの観点を盛り込む
- 子ども一人ひとりに合わせて可能性を伸ばす
- 皆で協働して、一緒に環境をつくる
- 温かい雰囲気を守り続ける

ミッション

手や足に障がいなどの特徴のある子どもたちに対する
総合的な支援体制を築き、その成長と活動に”適した”環境を整える

手や足に特徴のある子どもたち一人ひとりの成長と活動に”適した”環境を共につくる

バリュー

Smile & Joy
子どもたちの笑顔と、ワクワクを大切にします。

Different-ability & Diversity
多様性を尊重しつつ、Disable（できない状態）を
Different-ability（違った方法でできる）にする選択肢を提供します。

Challenge & Possibility
子どもの ”挑戦したい” 心を育み、自ら可能性を広げられる機会を提供します。

Smile & Joy
子どもたちの笑顔と、ワクワクを大切にします。

Different-ability & Diversity
多様性を尊重しつつ、Disable（できない状態）を
Different-ability（違った方法でできる）にする選択肢を**つくります**。

Challenge & Possibility
子どもの ”挑戦したい” 心を育み、自ら可能性を広げられる機会を**つくります**。

Inclusion & Comfort
”ここにいたい”と安心を感じる、温かい雰囲気を大切にします。

ビジョン・ミッション・バリュー

ビジョン

すべての子どもたちが、自分らしさに誇りを持ち、成長できる社会を

ミッション

手や足に特徴のある子どもたち一人ひとりの成長と活動に”適した”環境を共につくる

バリュー

Smile & Joy

子どもたちの笑顔と、ワクワクを大切にします。

Different-ability & Diversity

多様性を尊重しつつ、Disable（できない状態）を
Different-ability（違った方法でできる）にする選択肢をつくります。

Challenge & Possibility

子どもの ”挑戦したい” 心を育み、自ら可能性を広げられる機会をつくります。

Inclusion & Comfort

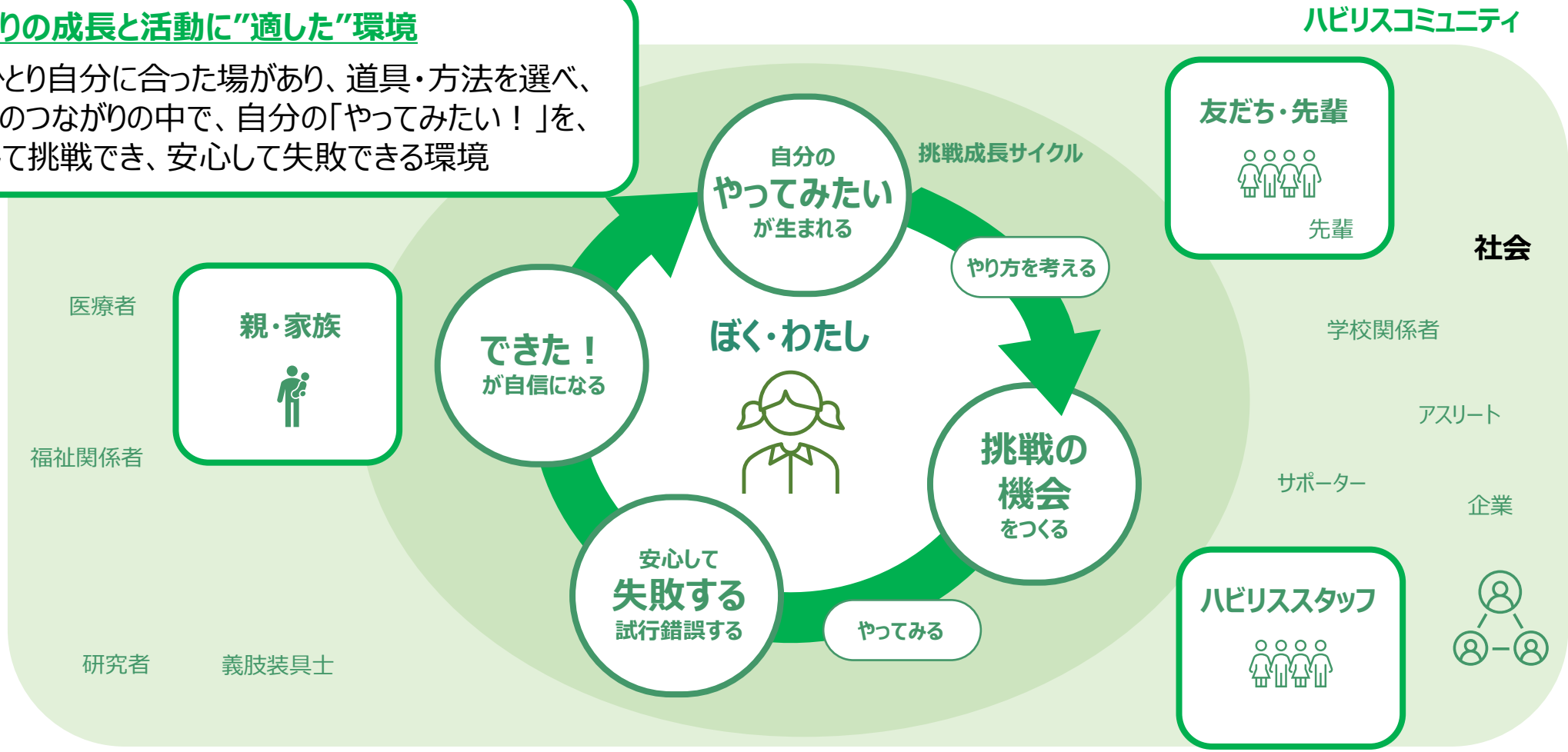
”ここにいたい” と安心を感じる、温かい雰囲気を大切にします。

ミッションの再確認

ミッション　**手や足に特徴のある子どもたち一人ひとりの成長と活動に”適した”環境を共につくる**

一人ひとりの成長と活動に”適した”環境

一人ひとり自分に合った場があり、道具・方法を選べ、仲間とのつながりの中で、自分の「やってみたい！」を、安心して挑戦でき、安心して失敗できる環境



第３期 中期計画

中期ビジョン　5年後（2031年）に実現したい目標

挑戦と共感の好循環による、持続的仕組みの確立

子どもたちの**挑戦**を増やす

【子ども・家族】

自分なりの”やってみたい！”に日々挑戦できている状態を、一人でも多くの子どもたちに広げていくことを目指します。

社会の**共感**を力にする

【支援者・社会】

子どもたちの成長が、社会の共感を生み、そして次の挑戦の支えにつながる好循環をつくることを目指します。

好循環が続く仕組みをつくる

【運営チーム・コミュニティ】

ハビリスジャパンの活動がこれからも続くための仕組みが、関わる皆で共につくり育まれるコミュニティに成長していることを目指します。

５年後に実現したい中期目標を共有することは、「すべての子どもたちが、自分らしさに誇りを持ち、成長できる社会」という大きなビジョンのもとで、
今取り組むことの共通認識となり、私たち一人ひとりの力を一つにする羅針盤となります。

”やってみたい！”の循環が続く持続的仕組みが出来た先に、自分らしさに誇りを持ってキラキラ輝いて活躍している子どもたちが、着実に増えている未来があると信じています。

５つの重点ポイント　目標実現のためのアクションプランと達成目標（KPI）



中期ビジョンの達成に向けて着実に歩みを進めるため、アクションプランと具体的達成目標として「５つの重点ポイント」を設定しました。挑戦と共感の好循環に向けて、柱１～５の取組全てつながることで、中期ビジョンで目指す「持続的仕組み」が出来上がっていくと信じています。

1 多くの子どもたちの挑戦機会を継続的につくる

ニーズを踏まえたイベントを、全国のより多くの子どもたちに、継続的に届けられる仕組みを形づくります。

挑戦の機会を継続して得られることは、子どもたちの自立や成長にとって重要な要素です。以下の点を強化し、年間を通じたイベントの枠組みを、継続性ある形でつくります。

- 定期的なレギュラーイベントを企画し、子どもたちの成長につながるプログラムを確立します
- 子どもたちの「やってみたい！」、大人たちの「やらせてあげたい！」を大切にした企画を、継続的に実施します
- 居住地域による参加の壁を減らし、全国のより多くの子どもたちが参加できるようにイベント企画を強化します

第１の柱　５年後（2031年）の達成目標（KPI)

目標内容	指標･目標値
子ども向けイベント	年30回
地方開催イベント	４地域
イベント参加者（実人数）	60名（実数）
イベント満足度	会員評価90%

2 ”やってみたい！”を支え育む環境をつくる

好奇心のタネと道具がそばにあり、“やってみたい！”が日常から芽生える環境をつくります。

一人ひとりの“やってみたい！”を育むためには、特別なイベントの場だけでなく、日常の中に”やってみたい！”が立ち上がり、それを支え育むことが大切だと考えています。

- 友だちの前向きな姿に触れ、自分の”やってみたい！”に出会うきっかけがあること
- ”やってみたい！”と思ったときに、必要な道具やヒントに手が届くこと
- ”やってみたい！”の気持ちを大切にして、やり方を一緒に考える仲間がそばにいること

こうした環境づくりに取り組むことで、挑戦と成長のサイクルが、無理なく自然に廻る土台をつくります。

第２の柱　５年後（2031年）の達成目標（KPI）

目標内容	指標･目標値
新しい挑戦づくり（研究開発）	新規1種類
デバイスのレンタル･提供	14個･５施設
イベント以外の環境づくり	年1企画

目標内容	指標･目標値
スライドリコーダー	全国への普及
挑戦実感（満足度）	会員評価90%

3 共に成長する友だちを増やす

一緒の時間を過ごし共に成長する友だち･家族をもっと増やし、つながります。

一緒に取り組む友だちの存在は、子どもたちにとって大きな支えになります。

初めてでも参加しやすい工夫をしながら、子ども同士・家族同士が自然につながり、安心して関われる居場所にしていきます。
また、新しいチャレンジが子どもたちの可能性を伸ばすことの意義を普及啓発することで、共に成長する友だちを増やしていきます。

第３の柱　５年後（2031年）の達成目標（KPI）

目標内容	指標･目標値
ハビリスファミリー（家族会員）	102家族
家族交流会	25家族（実数）
ハビリスへの仲間意識	会員評価90%

4 共感する仲間の輪を広げ、社会に変化の兆しを生む

社会に情報を届け、想いに共感するサポーターや連携･協力者を増やします。
それにより、インクルーシブな社会実現に向けた変化の兆しが生まれることを目指します。

ハビリスジャパンの活動、子どもたちの成長の姿を社会に発信し、共感を通じて仲間の輪を広げていきます。
個人・企業・専門職など、多様な立場の人がそれぞれの形で関われる機会をつくり、子どもたちの成長を共に喜び、支え続けられるコミュニティを育てます。
こうした共感の輪を社会に根づかせることで、社会全体にインクルーシブなマインドが広がっていくと信じています。

第４の柱　５年後（2031年）の達成目標（KPI)

目標内容	指標･目標値
ハビリスサポーター（個人会員）	300名
コーポレートサポーター（賛助会員）	30社
提携団体･連携施設	20団体

目標内容	指標･目標値
医療者向け普及啓発	講演会年1回以上
情報発信（満足度）	会員評価90%

5 持続的な運営基盤を、皆でつくる

ハビリスジャパンが、子どもたちの”やってみたい！”を叶える存在であり続けるため、持続性ある運営体制と財務基盤を、コミュニティの力を一つにして、皆でつくります。

子どもたちの“やってみたい！”をこれからも育み続けるためには、運営体制と財源の持続性が欠かせません。
コミュニティの力を束ね、皆が自分なりに主体的に関わることで、持続的な運営につなげていく仕組みをつくっていきます。
そして、寄付など多様な財源を確保するとともに、運営を担うクルーやボランティアを増やし、組織体制と事務局機能を強化します。
こうした運営基盤づくりを通じて、”やってみたい！”の循環が続く持続的仕組みの実現を目指します。

第５の柱　５年後（2031年）の達成目標（KPI）

目標内容	指標・目標値
事務局体制	専従1名、パートタイム3名
クルー（ミドル・コア参加）	30名
ボランティア（ライト参加）	50名
助成金依存度	25%

運営基盤強化に向けた具体的アクションプラン

4 5

1st STEP （2026-2028） 支援基盤の確立（紹介を通じて輪を広げる）

- 応援の入り口の整備
- 支援者との継続的な関係づくり
- 紹介により輪を広げる仕組みづくり
- クルー体制の強化とPDCAの定着

▼

2nd STEP （2028-2030） 社会との連携強化・インパクト拡大

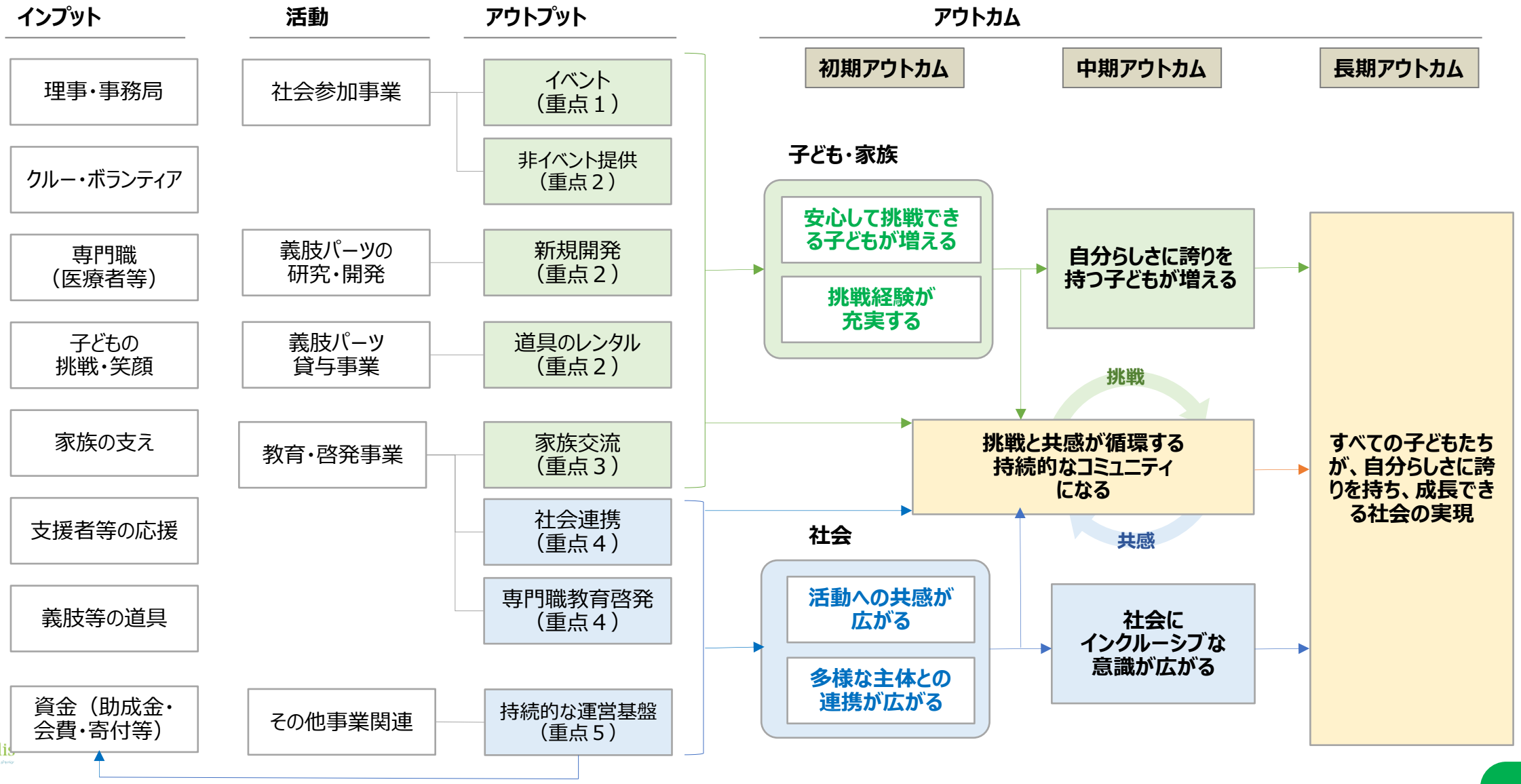
- 社会への情報発信の強化
- 事業収入の強化
- 企業等との連携強化
- 持続可能な事務局体制の構築

▼

持続的な運営基盤を確立 （運営体制・財務基盤）

これからも継続的に子どもたちに挑戦機会をつくっていくために、持続的な運営基盤の確立は、私たちにとって急務と考えています。 そのため、重点ポイント４（社会・連携協力）、重点ポイント５（運営基盤）について、この５年間の具体的な戦略・アクションプランの方針を設定しました。PDCAを廻し、随時改善しながら活動を進めて参ります。

社会的インパクト評価


インプット
活動
アウトプット
アウトカム
初期アウトカム
中期アウトカム
長期アウトカム
理事・事務局
クルー・ボランティア
専門職
（医療者等）
子どもの
挑戦・笑顔
家族の支え
支援者等の応援
義肢等の道具
資金（助成金・
会費・寄付等）
社会参加事業
義肢パーツの
研究・開発
義肢パーツ
貸与事業
教育・啓発事業
その他事業関連
イベント
（重点１）
非イベント提供
（重点２）
新規開発
（重点２）
道具のレンタル
（重点２）
家族交流
（重点３）
社会連携
（重点４）
専門職教育啓発
（重点４）
持続的な運営基盤
（重点５）
子ども・家族
安心して挑戦できる子どもが増える
挑戦経験が充実する
自分らしさに誇りを持つ子どもが増える
挑戦
挑戦と共感が循環する持続的なコミュニティになる
共感
社会
活動への共感が広がる
多様な主体との連携が広がる
社会にインクルーシブな意識が広がる
すべての子どもたちが、自分らしさに誇りを持ち、成長できる社会の実現